

ニュースリリース

2011/03/23

株式会社ピコハウス

### ピコハウス、国際放送機器展”NAB Show 2011”に出展

デジタルコンテンツの企画、開発、制作、販売を行う株式会社ピコハウス(本社:東京都新宿区、代表取締役:佐藤隆信。以下ピコハウス)は、2011年4月11日(月)～4月14日(木)に米国・ラスベガスで開催される国際放送機器展”NAB (National Associations of Broadcasters) Show 2011”に出展いたします。

会期	: 2011年4月11日(月)～14日(木)(現地時間)
会場	: ラスベガス・コンベンション・センター(米国ネバダ州ラスベガス)
ブース名	: 3D Pavilion
ブース番号	: C10514B1 (Central Hall)

#### 【NAB Show 2011 出展製品】



『Easy3D』は、「AVCHD」規格のフォーマットで作成された左目用および右目用のフル HD データを取り込み、「Blu-ray 3D」規格に対応したレコーダー/プレーヤーで 3D 再生が可能なブルーレイディスクを作成する簡易オーサリング・ライティングシステムです。ビデオデータ取り込みの過程で立体視 3D 再生に必要なストリームを再エンコードせずに作成することができるため、作業時間が短縮可能です。また、メニューのテンプレートから背景やボタンイメージなどのパーツを選択しそのデータを登録すると、登録したデータが自動的に配置されるので、短時間で立体視 3D のメニューオーサリングを行うことができます。



<NAB Show 2011 にて世界初公開>

『Easy3D BDJ』は、「Blu-ray 3D」規格に対応した BD-J モジュールを自動生成してフル HD 3D 再生が可能なブルーレイディスクを制作するオーサリング・ライティングシステムです。『Easy3D BDJ』に入力できるビデオデータは、『Easy3D』で作成したブルーレイディスク、または「Blu-ray 3D」規格対応の MVC エンコーダーで作成した左右独立の立体視 3D ビデオデー

タです。入力された左目用および右目用のフル HD ビデオデータを解析して、Adobe Photoshop で作成したグラフィックパーツをビデオ内の対象物の深度に合わせて自動配置する機能と、ビデオ内の指定対象物の移動を検知し、移動に合わせて深度を含めた自動追尾の機能を提供します。さらに、自由なレイアウトの立体視 3D ディスクメニューの編集や、登録した 2D 静止画または立体視 3D 静止画を使ったスライドショーの作成が可能です。

#### 【株式会社ピコハウスについて】

ピコハウスは、1987 年に株式会社新潮社の映像・音楽部門制作会社として設立されてから現在に至るまで、デジタルコンテンツの企画、開発、制作、販売の分野において、お客様が求めるサービスおよび技術の提供を進めてまいりました。

ディスクメディアのオーサリングにおいては、1994 年、ビデオ CD からスタートし、1996 年には独立系として世界初の DVD オーサリングサービスを開始、2006 年よりブルーレイオーサリングサービスを開始しており、2009 年には BD-LIVE 機能を利用した動画配信サービスに対応したディスクのオーサリング・プレスを担当、2010 年には Panasonic 社製一体式二眼 3D カメラコーダー『AG-3DA1』の出力データをもとに簡単な操作でフル HD 3D 再生可能なブルーレイディスクを制作できるオーサリング・ライティングシステム『Easy3D』を発売しました。私達は、このような取り組みを通して、他社にはない高い顧客満足度を実現し、数多くの実績を残しています。

#### 【製品・販売に関するお問い合わせ】

株式会社ピコハウス

開発部 佐藤、水野

Email: [easy3d@pico-house.co.jp](mailto:easy3d@pico-house.co.jp) 電話番号: 03-3266-8855 FAX:03-3266-8871

※本リリースに記載される企業名および製品名は、各社の商標または登録商標です。